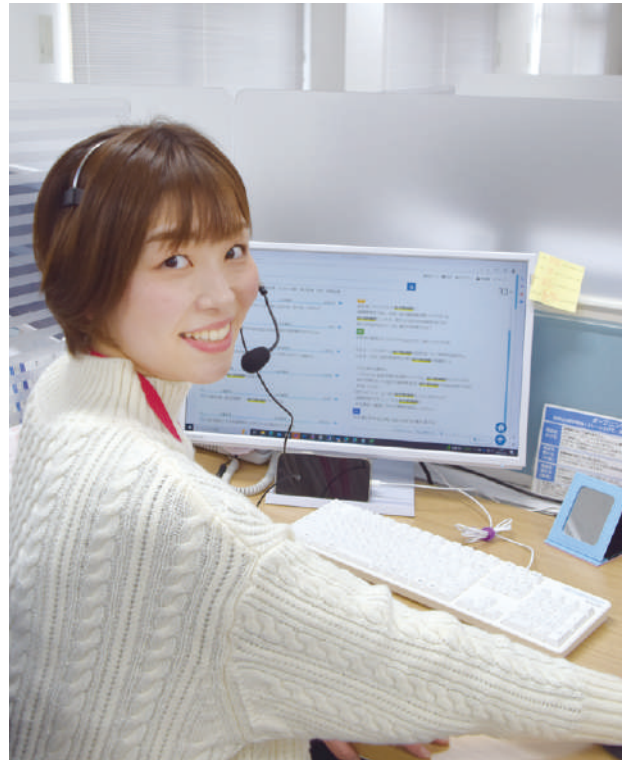




ステキな人発見!



TKCカスタマーサポートサービス株式会社

かく どう ひとみ
角銅 瞳 さん (34歳・緑町)

プロフィール 趣味…子どもとゲーム
好きな食べ物…コーヒー、チョコレート

現在、株式会社TKCが提供するシステムの問い合わせに対応するコールセンターで働いている角銅さんを紹介します。

角銅さんは、地方公共団体向けのシステムを担当しています。明るく丁寧な角銅さんを信頼し、対応を希望するお客様も多いそうです。「次も角銅さんをお願いするね」と言ってもらえることが一番嬉しいと笑顔を輝かせます。

また、2児の母でもある角銅さん。結婚を機に、専業主婦となりましたが、3年前に職場復帰を決意しました。仕事を休まなければならぬ時もありますが、「お互いさまだ

よ」と声を掛け、フォローしてくれる仲間がいる職場なので、無理なく働くことができ、お客様の役に立ちたいという思いや仲間を思う気持ちにより強まると語ります。

休日は、お子さんと一緒に公園に行ったり、ゲームをするなど、家族との時間を大切にしているそうです。また、大好きなコーヒーとおいしいチョコレートをお供に、お気に入りのダンス動画を見るのが至福の時間だそうです。

今後について、「お客様の役に立てるよう、もっと知識を増やしていきたい」と語ってくれました。これからも飾らない笑顔で、職場を明るく照らし続けてください。



市民俳壇

雪晴や遠き女峰山の幾何模様

おもちゃ屋の凧は売切れ六日かな

冬満月仏間の客となりけり

数多あり地に霜柱天に星

冬灯独りで暮らす母の顔

小さき手をつなぎて歩む初詣で

除夜のかね看護すませた子が帰宅

深山路や風にさざめく散紅葉

名前(ふりがな)住所を明記し、はがき・メールで応募ください。締切は毎月20日(到着分です)。〒322-8601 今宮町1-9-808-1 メール kohoo@city.kanuma.lg.jp 広報広聴係(応募部門を明記)

布川 武男選

引田 斎藤 良明

万町 海原ゆう子

榎木町 上野佐喜子

松原 伊東 康則

坂田山 佐藤 宣明

中栗野 大塚 初江

上野町 竹澤 光子

油田町 酒井 國男

市民歌壇

小林 夏江選

初春の朝陽射し込む藪のなか素早く動きミソサザイ鳴く

日吉町 小川 豊治

夕焼けがあんずの色に変わりたり白鷺三羽西へ飛び行く

口栗野 斎藤 悦子

小鳥鳴くベッドに届くうらら陽よ 時限つきなりこの世の天国

入栗野 神山 和子



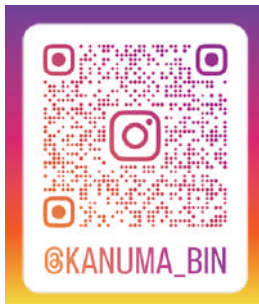
「かめま便」は市民協働モデル事業の支援を受けて活動している団体で、現在、千徳さんを含め4人が在籍しています。

この団体の活動目的は、鹿沼の魅力を若者目線で発信すること。インスタグラムをはじめ、ケーブルテレビへの出演など、さまざまな媒体を通じて鹿沼をPRしています。

また、鹿沼の物産品を載せた絵本を作り、それを市内小学校へ配る予定もあるとのこと。「読みやすい絵本を通して、小さい子たちにも、自分たちが住んでいる市の魅力を知ってもらいたい」と千徳さんは笑顔で話します。

団体設立当初は、投稿記事への反応が少なく、「自分たちの想いがしつかりと伝えられているか不安な時期が続いた」と活動を振り返ります。そのため、より多くの

かめま便では、同年代の仲間を募集中！
インスタでメッセージをください！



代表の千徳さんは、「かめま便」の活動を通して、鹿沼の魅力を発信していくことで、いちど鹿沼を離れた人のUターンのきっかけになつてもらえたら嬉しい」と熱い想いを語ってくれました。

が増え、応援の言葉まで寄せられるようになったとのこと。

人に見てもらえるよう、フォロー先を増やし、メッセージを発信するなど、積極的にPRしていくことで、投稿への反応



市民のチカラ

～市民団体とその活動を紹介～



No.5

かめま便

設立：令和3年12月

代表：千徳 渉真さん

若い世代が中心になり、インスタグラムなどのツールを通して、鹿沼の魅力を発信する。



▲かめま便のメンバー（左から2番目が千徳さん）

市民川柳

今日も行く冬のリハビリ春一番

西茂呂 円山ミツ子

七草や無病息災兎跳び

西茂呂 阿部 金司

上と下見ながら欲と丸く住み

上殿町 小林 義雄

税を上げ誰守るのか防衛費

村井町 野島 幸子

ティーショット恵方はいつもフェアウェイ

中粕尾 若林 正風

節電をせよと便座の冷めた声

板荷 島田 ふみ

コロナ禍に挑むワクチンはや三年

加園 池田 大

星屑を掬いきれない冬の天

下奈良部町 小野口 博

幼き日妣ははの作りししもつかれ記憶を手繰りことごと煮込む
万町 中又 令子

ドクターは子と同じ歳傷あとを確かむ眼差し鋭く
古賀志町 渡辺 雪子

菜の花を早くも見つけ瓶に挿し一足早き春を楽しむ
西沢町 安達 和子

一〇五歳になりたる母と暮らす日貴重なる時あたためながら
西沢町 竹沢 敏子

初夢に亡き父母が揃い居て「今年は古稀ぞ踏ん張り生きよ」と
久野 田村 悦子

白石 洋 選

※選出の際に、選者による加筆・修正が入る場合があります。